

## AIを活用した農産物の販路開拓に向け連携協定 熊本市、崇城大学、熊本ネクストソサエティ

熊本市・崇城大学・熊本ネクストソサエティ(株)(熊本市中央区上通町4丁目、山戸健社長)の3者は7月26日、地元農産物の販路拡大を目的に、農業生産者への市場ニーズの効果的なフィードバックや情報マッチングの最適化に向けたAIの活用などについて連携協定を結んだ。

熊本ネクストソサエティ(株)と崇城大学が進める生産・流通・消費に関わる情報をデータ

ベース化し、AIによる各情報の効果的なマッチングを図るクラウド型システム「フードインデックス」と、熊本市が運営する農業者紹介サイト「熊本市産品事典」を連携させることで、農産品の販路拡大、IOT、AI技術を使った消費者・流通業者からの自動データ収集、生産者との最適なマッチングを実現するシステム構築を目指す。



▲協定書を手に見せる大西一史熊本市長(左)、中山峰男崇城大学学長(中央)、山戸健熊本ネクストソサエティ(株)社長



▶当日は熊本市役所5階庁議室を会場に、関係者が見守る中、調印式が開かれた